

科名 血液内科 血123  
 対象疾患名 移植前処置  
 プロトコール名 FL/IV-BU/ATG

Rp	形態	ルート	薬剤名	投与量	時刻・コメント	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0
1	CV	側管	グラニセロンパック	1mg	30分かけて	↓	↓	↓	↓	↓		
2	CV	側管	フルダラ注	30mg/m <sup>2</sup>	60分かけて	↓	↓	↓	↓	↓		
			注射用水	2.5mL								
			生理食塩液	100mL								
3	CV	側管	ソル・コーテフ	100mg	サイモグロブリン投与1時間前	↓	↓	↓	↓			
			生食	100mL								
4	CV	側管	生食	100mL	サイモグロブリン試験投与用	↓						
5	CV	側管	サイモグロブリン注	2.5mg/Kg	6時間以上かけて	↓	↓	↓	↓			
			注射用水	5mL								
			生理食塩液	500mL	要フィルター							
6	CV	側管	ブスルフェクス	0.8mg/Kg/回	2時間かけて		↓	↓	↓	↓		
			5%ブドウ糖	100mL	4時 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖は必要量にする							
7	CV	側管	ブスルフェクス	0.8mg/Kg/回	2時間かけて	↓	↓	↓	↓			
			5%ブドウ糖	100mL	10時 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖は必要量にする							
8	CV	側管	ブスルフェクス	0.8mg/Kg/回	2時間かけて	↓	↓	↓	↓			
			5%ブドウ糖	100mL	16時 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖は必要量にする							
9	CV	側管	ブスルフェクス	0.8mg/Kg/回	2時間かけて	↓	↓	↓	↓			
			5%ブドウ糖	100mL	22時 調製後8時間以内に投与終了 ブドウ糖は必要量にする							

1コース=7日間

～MEMO～

適正体重補正:本プロトコールは、reduced intensity conditioning(RIC)であり、体重補正を行い、投薬量を調節する。

各薬剤の上限投与量 理想体重×120%

〈ブスルフェクス〉

・ブスルフェクスを、10倍量の生食、又は5%ブドウ糖液で希釈する。

・調整後は8時間以内に投与終了。

・痙攣予防として、フェニトインを内服する。

(ex:アレビアチン(100) 3T/3x 毎食後)

〈サイモグロブリン〉

・HLA一致の血縁ドナーの場合はサイモグロブリンは投与しない。

・試験投与

投与初日は試験投与を行う。

①1vを注射用水5mLに溶解し、このうち0.5mLをとる。

②①を生食100mLに希釈し、1時間以上かけて投与。

・アナフィラキシー予防

投与1時間前にソル・コーテフ100mg静注、アセアミノフェン0.5g/回、ホラミン錠2mg/回の内服を行う。

途中アレルギー症状があれば再度追加検討。